



テーマ:ふるさととの伝統文化継承の 中核となる学校

～ふるさとに学び、ふるさとを愛し、
ふるさとに誇りをもって生きる子の育成～

本校には地域の特色を全校で学ぶ学習「わた学習」と「食育」、地域の災害について学ぶ「防災学習」があります。これらの学習を生かして、子どもたちが、地域の「ひと・もの・こと」とかかわり、地域の方と共に地域（ふるさと）について学びます。地域の方たちのふるさとへの愛着の気持ちを改めて掘り起こす役割を担うことで、ふるさととの伝承文化の継承の中核となる学校であり続けることをめざします。



わた学習

- 棉の栽培、綿繰り、糸つむぎ、機織りなど、地域の伝統文化継承の体験
- 「わた集会」

食育

- 野菜、大豆、米の栽培など、地域の産業に触れる体験
- 「学習発表会」「感謝の会」

地域の 文化継承

防災学習

- 三河地震、避難グッズ、地域の防災の学習
- 「学習発表会」

活動内容

ふるさとを学ぶために

- 地域の方たちとのかかわりを多く取り入れたり、天竺神社や三河木綿、三河地震、大豆などを調べて、地域を学びます。



ふるさとの愛を育むために

- 棉の栽培、綿繰り、糸つむぎ、機織りの体験の中で、地域の方の指導を受けながら、校内での継承を体験することで、地域の文化継承を感じ、地域の愛を育みます。
- コットンボール銀行の活動を復活することで、地域への綿の栽培を広めふるさとの愛を掘り起こします。
- 地域の防災について学ぶことで、地域の方たちの「みんなの命を守る」活動を知ります。
- 地域の方たちから野菜、大豆、米の育て方や調理の仕方を教えてもらう活動を通して、地域の豊かさを理解します。



ふるさとを誇りに思う心を育むために

- 学習発表会やわた集会で、地域や家庭に学びを発信したり、交流したりすることで、地域の方と一年の学びを共有し、ふるさとを誇りに思う心を育みます。

